

# 中国注疏講義

経書の巻

古勝隆一

〔著〕

(京都大学文学部教授)

四六判・並製・二六四頁・本体一、八〇〇円＋税

2022年9月刊行



「中国古典を自分の力で読んでみたくはありませんか」。注釈を利用して古典を読む。その手法を基礎と実践で学ぶための一冊。「経書の巻」では儒教經典の孝経・論語・周易・尚書・詩・礼記・春秋左氏伝の注釈の読解にチャレンジ。

はじめに

## 【基本篇】

### 第一講 古典

古典について／経書は難解である／経書とは／注釈と小学・辞書——古典を理解するいくつかの方法

### 第二講 注釈

春秋時代と前漢時代のギャップ／前漢時代の「伝」や「記」注と疏

### 第三講 『十三経注疏』の概要

『十三経注疏』とは／経・伝・注・疏・音義——五つの層／阮元本『十三経注疏』について

### 第四講 字形・文字学

形・音・義——漢字の三要素／文字の変遷／小篆と『説文解字』／隷書以後／文字学とは

### 第五講 字音—音韻学

音韻学について／音とは何か／『經典釈文』という注釈／『經典釈文』の音や義／多音字を識別する／『広韻』の利用

### 第六講 字義—訓詁学

【著者略歴】一九七〇年生まれ、福岡県出身。東京大学文学部中国哲学科卒業、同大学院人文社会科学部博士課程修了。博士（文学、東京大学）。京都大学人文科学研究所助手、千葉大学文学部助教授、京都大学人文科学研究所准教授を経て、現在、京都大学人文科学研究所教授。専攻は中国古典学。著書に、『中国中古の学術』（研文出版）、『目録学の誕生——劉向が生んだ書物文化』（京大人文研東方学叢書、臨川書店）、『漢唐注疏写本研究』（中国語、社会科学文献出版社）、『中国中古の学術と社会（法藏館）、訳書に、余嘉錫『古書通例——中国文献学入門』、同『目録学発微——中国文献分類法』（いずれも共訳、平凡社、東洋文庫）、井筒俊彦『老子道德経』（慶應義塾大学出版会）などがある。

### 第七講 辞書

訓詁学／『爾雅』／『説文解字』  
注釈の訓詁が辞書になる／訓詁書と現代の辞書

### 第八講 句読・文法

句読について／文法

### 【読解篇】

### 第九講 『孝経』の注を読む

経書の注釈を読む／『孝経』の注／開宗明義章の読解／『經典釈文』の「孝経音義」／経文のおさらい／『孝経』というやさしい經典／訓読文  
コラム『孝経』——誰もが学ぶ儒教經典

### 第十講 『論語』の注を読む

『論語』の注／八佾篇「与其媚於奥」章／『經典釈文』の「論語音義」／経文のおさらい／『太平記』に引用された『論語』／訓読文  
コラム『論語』——古注と新注

### 第十一講 『周易』の注疏を読む

『周易』とその注疏／繫辞下伝「古者包犧氏之王天下也」節／『經典釈文』の「周易音義」／経文のおさらい／訓読文  
コラム『周易』——十翼をめぐって

### 第十二講 『尚書』の注疏を読む

『尚書』とその注疏／『尚書』金縢の冒頭／『經典釈文』の「古文尚書音義」／経文のおさらい／『三教指帰』に見える『尚書』の文言／訓読文  
コラム『尚書』——現行本から遡る

### 第十三講 『詩』の注疏を読む

『詩』とその注疏／召南「羔羊」／『經典釈文』の「毛詩音義」／経文のおさらい／訓読文  
コラム『詩』——「毛詩」以外の『詩』

### 第十四講 『礼記』の注疏を読む

『礼記』とその注疏／檀弓上「大公封於營丘」節／『經典釈文』の「礼記音義」／経文のおさらい／訓読文  
コラム『礼記』——四十九篇の複雑さ

### 第十五講 『春秋左氏伝』の注疏を読む

『春秋左氏伝』とその注疏／隠公五年「春公矢魚于棠」段／『經典釈文』の「春秋左氏音義」／経文のおさらい／訓読文  
コラム『春秋』——孔子の筆削をめぐって

おわりに／参考文献一覧

附 録（一） 訓詁のいろいろ／（二） 多音字挙例／（三） ピンインつき本文

注文書		様 冊	
(書店名)		ご担当	
中国注疏講義 経書の巻		法藏館	一、八〇〇円＋税
古勝隆一著		住所	
ISBN978-4-8318-7758-1 C0098		お電話	
お名前		ご住所	

ご注文は FAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

中国学